

あつべつ

なんでも

イチバン



## 厚別を見守ってきた 信濃小学校

区内で最初に建てられた学校、信濃小学校。その歴史は、厚別の発展とともにあります。

厚別の開墾は明治十六（一八八三）年に、現在のJR厚別駅付近に信濃（現在の長野県）出身の河西由造（ゆきぞう）たちの入植が始まります。そのわずか十年後の明治二十六（一八九三）年に、地域の人たちがお金を出し合って、信濃小学校（信濃簡易教育所）は開設されました。これ以前から、厚別には子どもたちに読み書きを教える塾があったそうです。当時の人たちが、いかに教育を大切に考えていたかがうかがえます。区内では、明治三十二（一八九九）年に小野幌小学校が、明治三十三（一九〇〇）年に上野幌小学校が相次いで開設されました。



校内にある「考古館」。明治から昭和にかけて実際に地域の人が使っていた農具や生活用品などが展示されています。同校の授業でも利用され、近隣の小学校も見学に訪れています。

先生の住居が一緒になっており、付近の農家と比べてとても立派だったそうです。初代校長でもある小副川（こまがわ）豊次郎（よしかろう）先生が一人で、七、八歳から十五、六歳ぐらいまでの生徒を教えていました。

明治二十七（一八九四）年には厚別駅が開業。明治三十（一八九七）年には信濃神社が建立され、地域も発展してきました。信濃小学校は入植者の故郷の名を残している神社とともに地域を見守り続けていくことでしょう。

## 区役所掲示板

### 子育て情報ホームページ（仮称）作成中

厚別区では現在、地域に密着した、子育てに必要な情報を発信するホームページを作成しています。企画運営に携わる運営委員会は、保健福祉サービスクラス職員のほか、子育て中のお母さんや北星学園大学、テクノパーク専門学校の学生で構成されており、それぞれの立場から、ホームページの内容や運営方法などが検討されています。運営委員会では、必要な情報や、あると便利な情報などを把握するためアンケートを実施しました。託児や一時預かりなどのサポート施設、雨天でも遊べる場所、気軽に行ける飲食店、病気の症状と対処法など、求める情報は広範囲にわたります。運営委員会では行政情報だけでなく、民間の情報を含めた内容を検討中です。

ホームページには、実際に施設などを利用した人や、地域からの情報が欠かされません。それぞれの地域に住む人たちが寄せられる情報によって、ホームページは、ますます充実した内容になります。ホームページは十月に公開する予定です。

### 皆さんの持っている情報をお寄せください

運営委員会では、こんな情報を募集しています。

授乳コーナーなどの設備や子ども向けサービスのあ  
る飲食店、託児つきの美容室、乳幼児も楽しめる地  
域のイベント、家族で楽しめる遊び場など

ほかにもお勧めの情報がありましたら下記までお寄せください。

厚別区保健福祉サービス課子育て支援担当  
☎895-2400内線507 FAX 894-0874  
Eメール at.somu@atsubetsu.city.sapporo.jp



6月11日に行われた運営委員会。ホームページの構成や掲載内容について意見が交わされます。作成は、テクノパーク専門学校応用情報工学科の生徒が受け持ちます

